

千葉大学からノーベル賞を!

これまでにない、あっと言わせる研究に挑戦

千葉大学医学部・医学研究院は、これまで100年以上にわたり千葉県唯一の国立大学医学部として千葉県の地域医療に大きな貢献をしてきました。現在は「治療学研究の推進」をキャッチフレーズに、AIなどの最先端のテクノロジーを駆使し、いまだ治療薬のない難病の治療薬開発や患者目線の治療法の確立をめざし、日夜を問わず医師・研究者が研究に励んでいます。

最近では、台風などの自然災害による糖尿病や高血圧などの悪化のメカニズムに関する研究、新しい感染症(新型インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス)の診断と治療法の開発など、これまでなかった次世代のニーズを満たす研究も開始しています。しかし、昨今の厳しい経済状況を反映し、研究者の研究資金が不足している状況です。

つきましては、御篤志にもとづく援助を賜りたく、このたび「千葉大みらい医療基金」を設立した次第です。ぜひとも皆様の御高配と御支援のほど、よろしくお願ひ致します。



医学部・医学研究院長
中山 俊憲



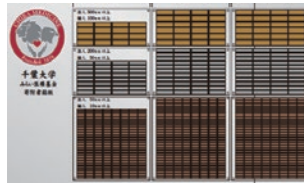
医学部附属病院長
横手 幸太郎



整形外科学教授/基金室長
大鳥 精司

ご寄付に対する謝意

新医学部棟に設置する千葉大みらい医療基金寄付者顕彰銘板へのご芳名の掲示をはじめ、様々な顕彰制度を設けさせていただきました。



- ご芳名のホームページへの掲載
 - 新医学部棟(治療学研究棟)の見学招待
 - 銘板掲示、記念品贈呈
 - 各種懇親会への招待等
 - 新医学部棟講堂命名権
- ※詳細ホームページでご確認ください

銘板(大)	個人	法人	クリスタル表彰プレート	クリスタルペーパーウェイト
(中)	100万円	500万円	個人 100万円	個人 3万円
(小)	50万円	200万円	法人 500万円	法人 10万円

ご寄付に関するご案内

本基金の趣旨をご理解いただけましたら、ぜひご寄付を願えますと幸いです。寄付金の使途についてご不明な点がございましたら基金室までお問い合わせください。

税制上の優遇措置

①個人のご寄付

寄附金控除制度を利用して、寄附金額から2,000円を差し引いた額で、所得控除を受けることができます(控除の対象となる寄附金額は総所得金額の40%が上限)。また、個人住民税の税額控除を受けることができる市町村もあります。

優遇措置を受ける方は別途お送りする本学発行の「寄附金領収証」に基づき、所管税務署にて確定申告をしてください。領収証はお届けまでに約1カ月前後要しますのでご了承ください。

②法人のご寄付

ご寄付は全額損金に算入可能です。詳細は本基金ホームページをご確認ください。

寄付のお申し込み方法

①金融機関でお振込み

振込用紙をご利用ください(本パンフレット同封または本基金ホームページからダウンロード)。郵送も致しますのでお電話にてお問合せください。

②現金でご寄付

大変恐れ入りますが、下記の本基金室に直接お越しください。

③「寄付フォーム」でご寄付

本基金ホームページでクレジットカードによる寄付もご案内しています。

国立大学法人千葉大学 千葉大みらい医療基金室

☎ 043-226-2286

✉ chiba-med-funds@chiba-u.jp

<https://www.mirai-fund.chiba-u.jp/>



begin.continue
千葉大学大学院医学研究院・医学部

千葉大 みらい医療基金

豊かな健康長寿社会と
安全・安心な千葉の未来のために





千葉大みらい医療基金の目的

1 新医学部棟(治療学研究棟)の環境を整備

85年の時を経ての更なる飛躍へ
新医学部棟(治療学研究棟)が
オープンします

一定額以上のご寄付をいただいた方は新医学部棟の顕彰銘板へご芳名を掲示致します。



医学研究の推進

2



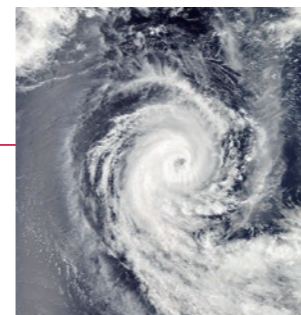
3 医学教育を支援

本基金は、皆様のご寄付で支えられています

疾患の予防や先端的医療の開発を目指し、世界を牽引する研究が行われています

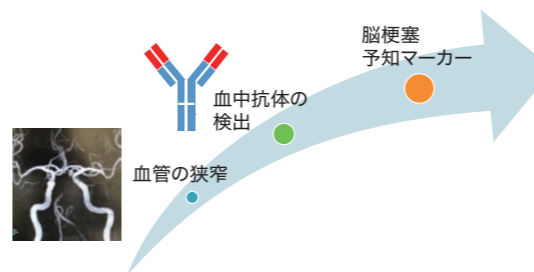
未曾有の災害に備えて AIを活用した災害治療 システム構築

巨大台風等の災害に備え、人工知能(AI)などの最先端技術を取り入れた災害治療システムを構築し、慢性期における免疫低下や真菌症、ストレス関連疾患の予防や治療法の研究を行います。



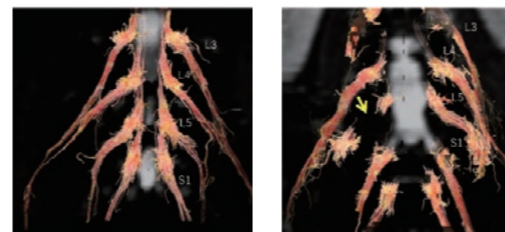
死亡を未然に防ぐために 脳梗塞予防の実現

脳梗塞は死亡原因の多くを占める疾患です。血管が狭くなっている場所に生じる変化を突き止めることで脳梗塞の前兆を見逃さず、未然に確実に予防できるようになります。



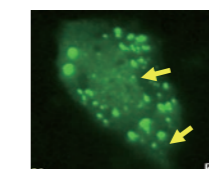
多くの人が悩んでいる 腰痛の「見える化」

特殊な技術で腰痛の原因となる神経を浮き彫りにすることで、従来目に見えなかった「痛み」の原因が見えるようになり、的確な診断と治療が可能となります。



難病の患者さんを救いたい 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の原因解明

運動ニューロン内の異常タンパク質凝集体



治療標的

運動ニューロンの変性



筋萎縮



alsn.mda.org

ALSは手足が麻痺して動かなくなったり、呼吸が困難になったりなどの重篤な症状が出る神経難病です。近年、異常なタンパク質凝集体がALSの発症に大きく関係していることがわかり、この凝集体がどのようにして作られるのか、解明を進めています。

iPS細胞研究を応用 NKT細胞を用いた免疫療法でがん治療の未来を築く

千葉大学は、日本が世界をリードするiPS細胞研究をさらに応用し、難治性がんの次世代の切り札として知られるNKT細胞を用いたがん免疫療法の実用化を世界に先駆けて目指しています。一刻も早く新しい治療法が患者さんのもとに届けられるよう日夜研究に取り組んでいます。

